

シェールガス革命

『シェールガス』は日本にはない。

固い岩盤の中に、膨大に眠っていたこのガスを、新たな技術で掘削できるようになった。その世界有数の埋蔵国が中国。石炭への依存からの脱却を目指す中国は、どんな取り組みを始めているのか。世界のエネルギー情勢を変える可能性もあるシェールガス革命について。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2010年8月9日 (月) NO 134

地域から明るい未来を作ろう

1：成分は普通の天然ガスと同じだが、埋蔵場所が違う。従来の天然ガスは比較的柔らかい地層にまとまってあり掘り出しやすいが、シェールガスは深くて硬い岩盤にあり採掘が難しかった。ところがアメリカで採掘技術が進歩し、安いコストで採掘できるようになった。その結果、将来輸入が避けられないと思われるアメリカが、今いたアメリカが、今では天然ガスの生産量がロシアを抜いて世界一、輸出するほどの勢い。『シェールガス革命』と注目されている。



2：一つはエネルギーをめぐる地政学的な変化をもたらす可能性。アメリカの天然ガスの生産が高まったことで、世界の需要と供給の関係や価格が変わる、あるいは石油や天然ガスの輸出で有利に立っている中東やロシアの立場が弱まる事も考えられる。というのは、シェールガスはアメリカだけでなく、中国をはじめアジアやヨーロッパにも豊富に存在すると見られているからだ。2つ目は、地球温暖化防止に役立つこと。CO2の排出は、石炭より4割も少ない。再生可能エネルギーに転換していくまでの有力な「つなぎ役」として期待される。

3：中国では、天然ガスは主に都市ガスとして家庭や工場に使われているが、天然ガスの需要は毎年10%もの勢いで伸びている。中国のエネルギー利用の内訳をみると、石炭への依存が極端に高く、天然ガスが占める割合は4%に過ぎない。中国政府は、来年から始まる5カ年計画の期間中、この比率を8%にまで拡大する方針。シェールガスは、まだ調査段階で実用化には時間がかかるが、将来的に有力な供給手段となる可能性。というのも埋蔵量が

事務所のお盆休みです。
8月13~16日(月)
迷惑をおかけします。

4：シェールガスの採掘には、固い岩盤を砕くために、強い圧力を掛けた大量の水が必要。中国の内陸部には深刻な水不足に悩む地域もあり、水の確保や排水の処理には注意が必要。また水と同時にいくつもの化学物質も使う、アメリカの環境保護庁が、今年の春から、飲料水や自然環境への本格的な影響調査に乗り出した。そうした調査結果を踏まえた環境対策も課題。

遊びから学ぶ

見えない私生活が容姿や人格形成に係わることは男女を問わないが、結果には差があるように思う。男性の場合、いくら低俗な遊びをしても、それらを栄養にして「いい顔」になれる。どうも女性はそうはいかないようだ。

どんな低俗な遊びを繰り返しても、どんな醜い修羅場を経験しても、そこから何かを学ぶ姿勢さえ持っていれば、最終的には男の成長の味方をする。

男の遊ぶ才能とは、遊びから何かを学ぶ才能のこととをいっていいだろう。ただ遊ぶだけで、そこからなにも学べないボクらは、どんな女からも軽蔑されるような情けない男になっていく。

「男の品格」川北義則

NHKニュース解説より